



第 34 回世界トランポリン競技選手権大会国内選考会（男子）

11 月 28 日～12 月 1 日 東京／有明体操競技場

<選考基準>

世界選手権において上位入賞（最低でも決勝進出）が見込める選手を選考する。2018 世界選手権での採点傾向を踏まえ最低限必要である要素（難度点 17.0）を構成し、日本として東京オリンピック出場枠の獲得に全力を尽くす。

<選考大会>

- 第一次選考会と最終選考会の 2 回の選考会にて日本代表を選出する
- ただし、オリンピック出場権枠取りがかかった WC バクー大会、及び WC ミンスク大会の結果も選考の対象とする。
- 第一次選考会は第 6 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会（5 月 11 日～12 日）とする
- 最終選考会は全日本体操競技種目別選手権大会時（6 月 21 日～22 日）とする

<選考方法>

1. WC バクー大会、もしくは WC ミンスク大会において、個人メダル獲得、あるいは強化指定 SA ランクの得点を出した選手を内定とする。
2. 第一次選考会終了時点で SA ランクを保有している選手を内定とする
3. 第一次選考会

男子：予選第二自由演技と決勝演技の合計得点で順位を決定する（決勝進出は 8 名）

予選（第二自由演技）・決勝において特別ルールを適用する

特別ルール：難度点 17.0 未満の場合は、不足分 0.1 につき-0.3 の減点を行う（10 種目実施時のみ適用）

- ① 第一次選考会 1 位の選手は日本代表に内定する（選考方法 1. で内定している選手を除く）
 - ② 選考会 1 位でも下記の派遣標準得点をクリアしていない場合は内定しない
 - ③ 最終選考会進出者は最大 16 名とし、上位者と協会推薦者とする（日本代表に内定している選手も出場することが出来る）※ 決勝進出者以外の順位は予選の合計得点から特別ルールを適用したものとす
 - ④ SA、S、A ランク保持者（第 6 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会終了時点）の中から協会推薦者として最大 6 名までは最終選考会出場権を与える（最大枠を使うとは限らない）
 - ⑤ 推薦者がいない場合は、成績上位から順に最終選考会の出場権を与える
 - ⑥ リザーブ選手は 2 名までとする（予選マーチンまで）
4. 最終選考会（決勝演技は第二自由演技 2 本とする）

男子：予選第二自由演技、決勝演技の 3 本の内ベスト 2 本の合計得点で順位を決定する（決勝進出は 8 名）

予選（第二自由演技）・決勝において第一次選考会同様の特別ルールを適用する

- ① 最終選考会 1 位（選考方法 1. 2. で内定している選手を除く）の選手を日本代表に決定する。
- ② 2 位以下の選手（選考方法 1. 2. で内定している選手を除く）の得点と一次選考会の 2 位の得点を比較し上位順に選考する
※ 一次選考会と最終選考会の点数が同点になった場合は、最終選考会での点数を優先とする。
※ それぞれの選考会（第二自由演技合計）で同点となった場合は、1 回の演技（第二自由演技）の最高得点を出した選手を優先とする
- ③ 派遣標準得点に達していない選手は原則派遣を見送るものとする
- ④ 日本代表選手は 6 名とする（5 位 6 位の選手はシンクロナイズド競技代表として選出する）
- ⑤ シンクロナイズドは強化本部にてペアを決定する。
- ⑥ 最終選考会の順位を元に、大会最終エントリーまでリザーバー（補欠）を準備しておく

<派遣標準得点>

男子派遣標準得点	予選第 2 自由・決勝合計得点	113.000 点
----------	-----------------	-----------



第34回世界トランポリン競技選手権大会国内選考会（女子）

11月28日～12月1日 東京／有明体操競技場

<選考指針>

安定した総合力を重視するため、第一・第二自由演技、決勝演技の3本合計により選手を選考する。

【選考方法】

第一次選考会（第6回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会：5月11日～12日）と、最終選考会（全日本体操競技種目別選手権大会：6月21日～22日）の2回の選考会にて日本代表を選出する。

ただし、オリンピック枠取りがなかったWCバクー大会、及びWC ミンスク大会の結果も選考の対象とする。

1. WCバクー大会、もしくはWC ミンスク大会において、個人メダル獲得、あるいはSAランクの得点を出した選手を世界選手権大会日本代表選手に内定する。
2. 第一次選考会

女子：第一・第二自由演技、決勝演技の3本合計得点で順位を決定する（決勝進出は8名）

- ① 第一次選考会1位（選考方法1. で内定している選手を除く）は日本代表に内定する。
- ② 下記の派遣標準得点をクリアしていない場合は内定しない。
- ③ 最終選考会進出者は最大16名とし（日本代表に内定している選手も出場することが出来る）、上位者と協会推薦者とする。
- ④ 最終選考会推薦対象者は、SA、Sランク保持者最大6名までとする（第一次選考会終了時）。
- ⑤ 推薦者がいない場合は、成績通りの選手が最終選考会に進出する。
- ⑥ リザーブ選手は2名までとする。

3. 最終選考会

女子：第一・第二自由演技、決勝演技の3本合計得点で順位を決定する（決勝進出は8名）

- ① 最終選考会1位（選考方法1. 2. で内定している選手を除く）を日本代表に内定する。
- ② 2位以下の選手（選考方法1. 2. で内定している選手を除く）の得点と一次選考会の2位の得点を比較し上位順に選考する（同点の場合は最終選考会得点を優先する）。
- ③ 派遣標準得点に達していない選手は原則派遣を見送るものとする。
- ④ 日本代表選手は6名とする（5位6位の選手はシンクロナイズド競技代表として選出する）。
- ⑤ シンクロナイズドペアは強化本部にて決定する。
- ⑥ 最終選考会次点者を補欠とする。

派遣標準得点

女子派遣標準得点	予選・決勝合計得点	152.000点
----------	-----------	----------